

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスmico			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月20日 ～ 令和7年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数)	12人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日 ～ 令和7年 2月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○四季折々の自然を感じながら、野外での取り組みや遊びを十分に楽しめします。	○室内での5領域に沿った活動を終了した後は、外に出て視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚の五感をフルに使い、四季を感じながら楽しめる活動に取り組んでいます。また、多くの植物や生き物・星や月等を観察することは、子どもにとって多様性を知り感性を育める絶好の機会になります。	○機器(望遠鏡・ドローン)を利用しながら知識を深め、興味をもてる環境づくりにしていきます。
2	○畑づくりと収穫した野菜での食育を行っています。	○農作業体験を通して土に触れ遊ぶことで、五感が最大限に刺激されます。種まきから収穫まで自分たちの手で農作物のお世話をすることで成長を観察する力が身につきます。また、収穫して調理をすることで、お友達と力を合わせる経験と食事によって五感をフルに使う経験ができます。	○田植え体験や野外でのおやつ・昼食・デイキャン・収穫祭等、家族や地域の方々も含めた取り組みを行っています。
3	○ホーススイングやボルタリング等の器具を使用した感覚運動ができます。	○身近な空間の中で、ホーススイングやボルタリング等の感覚統合を養います。遊びの中で楽しく体力や集中力の向上に繋げ、他の子と関わることでコミュニケーションスキルを養います。チャレンジする気持ちを育て自己肯定感を培います。	○現在は遊びの一環での取り組みだが、今後専門的支援として取り組みをしています。(作業療法士・言語聴覚士等)

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○地域との交流の機会が不足しています。	○地域の子どもと活動する機会を、活動として提供できていません。	○保護者の方の要望を伺いながら、必要とされている交流の方法等を検討していきます。
2	○保護者同士の交流の機会が提供できていません。	○新規契約の方が随時いたため、交流の機会を検討しましたが実施できませんでした。	○季節行事や交流会を開催する等、改善の工夫をします。 ○保護者の皆さんのニーズに応じた開催方法を検討していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスmico

公表日 年月日 R7年3月18日

利用児童数 年月日 R7年2月28日

18人

回収数 66.70%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1				○配置基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	2				○今後も子どもたちの特性や保護者のニーズに合った支援プログラムを作成します。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1				○今後も支援プログラムに沿った支援を提供していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	4				○引き続き、お子様の特性や発達状況を踏まえ、5領域に沿った具体的な支援内容を設定していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	2				○今後も計画に沿った支援を提供していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	4	3		Omico外の団体との交流は、あまりない印象です。	○今後検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1				○引き続き、支援内容を説明していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		3	9			○今後開催を行っていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	12					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1				○今後も共感的支援を行っていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	8	3		Omicoでの普段の様子を見れるだけでもいい（参観日のような）	○季節行事や交流会を開催する等、保護者様のニーズに応じた開催方法を検討していきます。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	7				○引き続き、こどもやご家族から相談や申し入れがあった際には迅速に対応します。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12				OHUG・LINEでの連絡、使いやすいです。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12				OHUG使いやすいです。写真を載せていただけるので良い。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1				○個人情報が記載されている書類は鍵付きの書庫に保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3			○あるのと思いますが、内容はわかりません。	○保護者の方には、再度HPに公開されている事を伝えていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	5				○今後も避難訓練、非常食調理を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	2				○今後、周知するよう努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				○大好きなお友達・先生がいてとても楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				○今後も広い畑等を利用して、micoでしか味わえないような体験を続けてほしい（畑仕事・雪遊び） ○小さい子のお世話や動物とのふれあいを通して優しい気持ちが増えるといいなと思う。 ○体を動かす活動を行ってほしい。	○ご意見を参考に、より支援に満足していただけるよう、今後も努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援・放課後等デイサービスmico		R7年 3月 18日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	☐		・児童数に応じて部屋を分けたり、屋外での遊びを行う等の配慮をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	☐		・国の設置基準＋加配配置を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	☐		・施設はバリアフリー化されている。	・対象児が利用になった時に、より具体的に構造化を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	☐		・清掃と消毒を行い、衛生面に配慮している。 ・活動場面により、適切な場所に変更している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	☐		・ルールを設け、大人の見守りと安全面に配慮し使用できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	☐		・ミーティングや会議等で話し合い改善を図っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		・開所して初めて行う。	・会議の中で評価結果を共有し、保護者の意見について話し合いを行い、改善に繋げていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		・会議や打ち合わせで意見を出し合い、環境面や支援内容について改善を図っている。	・話しやすい環境づくりを今後も行っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		☐		・今後検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	☐		・外部研修や講師を呼び資質の向上に努めている。	・内部研修として、職員の今学びたい困り感に対する動画視聴を取り入れていきたい。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	☐		・支援プログラムを作成し、ホームページに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	☐		・保護者にお子様の発達や困り感を伺い、計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	☐		・計画の作成や日々の支援では、子どもを主体にした話し合いを重ねている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	☐		・日々の打ち合わせ、ケース会議、原案会議等で子の姿・課題・目標等を話し合い共通理解のもと行われている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	☐		・ツールは用いていないが、医療や教育機関で行われている検査結果を情報共有し対応している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	☐		・お子様の状況に合わせて、ねらいや支援内容を考慮している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	☐		・活動会議の中で話し合いを行い、決定している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・5領域に沿って週ごとで分け、毎日色々な経験が出来るようにいろいろな方面から情報を取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・状況に応じて、個々に合った活動や支援の提供を心掛けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝の打ち合わせで確認し、支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・翌朝全員で情報共有を行っている。 ・支援終了後に報告・連絡・相談を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・HUGのシステムを利用し記録全般を全員がいつでも確認できている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・保護者のご都合や相談に合わせて、面談、相談を行い計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供を意識して取り組んでいけるよう心掛けている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・日常、選択肢や取り組みの中で、何がしたいか等自己決定できるように心掛けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・学校のコーディネーターの先生や他のデイサービスとの連携、相談支援、保健師等と随時情報共有を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校のコーディネーター、担当の先生等と情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・支援会議に参画し、随時情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		・該当者なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・学校のコーディネーターの先生から助言と研修を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・日常的に交流や習い事等、他の子どもとの活動・関わりをしているため、あえてその機会は設けていない。	・今後検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		・自立支援会議や研修会に今後参加予定
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・日常的にLINEやHUGの記録、送迎時や電話等でお子様についての情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・今後開催予定。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・作成にあたり配慮を必要とする点や支援にあたっての要望等を確認している。	・子どもとの面談を行っていないため、今後検討していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・計画内容を説明の際に保護者に確認し、同意をいただいている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・ご相談いただいた際には迅速に対応し、力になれるよう心掛けている。	・今後も保護者様との信頼関係を築けるよう努めていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・今後開催予定。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情を受けた際には、迅速に対応できるように心掛けている。今後も早期に問題解決できるよう努めていく。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・mico通信、Instagramを用いて日々の様子や連絡事項を発信している。 ・玄関には活動の様子を掲示している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人名が入ったものは掲示しない。 ・名簿等はシユレッターにかける。 ・SNS等の顔出しに留意していく。	・守秘義務と個人情報保護については職員研修で確認していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・視覚的に伝わる環境を整えている。	・個別に伝わりやすいよう配慮を行っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・施設内見学等開かれた事業所を目指している。	・今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・HPで公開している対策委員会は月ごとにスタッフ会議内で行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・避難訓練、非常食調理を行っている。 ・BCPの作成をしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・服薬、てんかん、アレルギーの情報や状況はアセスメント時に聞き取り職員で共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・随時、保護者に確認し行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に基づき、毎月会議を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・HPIにマニュアルを載せ周知している。	・今後より分かりやすく周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットの再発防止のため、随時検討を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を開催している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・利用契約時に説明を行っている。	